

## 全校朝会（環境学習発表会）

2019. 1. 28

6年生に、先週の社会科見学について聞きました。

先週の土曜日に、花園小学校で、環境学習発表会とまちの先生見本市がありました。去年は戸三小で行われたものです。4年生が今年「神田川ファンクラブ」で学んだことと、神田川や私たちの町、私たちの生活を守るために、環境問題について考え実際に活動した「フューチャーエコ大作戦」について模造紙と映像で展示発表をしてくれました。たくさんの方が足を止めて見てくださっていました。きっと、4年生の思いは、他の学校の人たち、新宿区全体の人たちに届いたと思います。

今年、ゲストとしてお話をしてくださったのは、アルピニストの野口健さんでした。野口さんのお話はとにかくおもしろくて引き込まれてしまったのですが、まず、野口さんが言ったのは、発表の時に原稿を見ないで発表していた小学生が素晴らしかったということでした。原稿を見ながら話をすれば正確に話すことはできるけれど、失敗してもいいから見ないで話すと、考えていることや感じたこと、思ったことが伝わりやすいよということでした。心が伝わるのだと教えてくれました。野口さんが小学生や中学生の時にやんちゃな子だったということや、ケンカをして学校に1か月行かなかった時のこととかも話してくれました。その学校に行かなかった時に植村直己さんという冒険家の本を読んで、冒険家として有名な人も毎日こつこつと頑張っていたのだということを知って、それなら自分は植村直己さんよりも多くのことに挑戦しようと思ったのがアルピニスト、山登りをする人になる第一歩だったと言っていました。世界で一番高い山、エベレストにも行きました。世界で一番の山なので、世界中からとても多くの人に来ていて、エベレストでは大渋滞が起きているそうです。たくさんの人たちが毎日絶対にすることは食事とトイレで、登ってテントを張ってまずすることはトイレ用の穴を掘ることだそうです。そのトイレ用の穴が、そこにもあそこにもあるという状況なのですから、エベレストはどんどん汚れてきている・・・これでいいのかと考えて山に登ってごみを取り除く活動を始めたそうです。日本でも富士山のゴミが問題になっていたので、富士山でもゴミをなくす活動を始めましたが、最初は呼び掛けても40人くらいしか集まらなかったそうです。でも、ずっと続けていたらテレビでも取り上げてもらうことができ、どんどん参加してくれる人が増え、今は7000人くらいが一緒に活動してくれているそうです。そして、それだけでなく、一般の登山者の人も富士山に登りながら、目についたごみを拾ってきてくれるようになったので、富士山はきれいになってきたそうです。きたないと気持ちも暗くなるけれど、きれいになると心が喜んでいるようで自分が元気になると言っていました。

土曜日は、テニスの大会で大阪なおみ選手が優勝し、世界1位になりました。インタビューで大阪選手が言っていたことも野口さんが言っていたことと同じでたいへんなこともたくさんあったけれど、毎日頑張った・・・ということでした。そして、自分を支えてくれたチームのメンバーや応援してくれた人への感謝の言葉を言っていました。少しずつやり続けるということの大切さを感じた土曜日の出来事でした。

みなさんの未来は、みなさんで決められるのだと思います。みなさんの周りにいる人の力も借りながら、自分のできることについて考え実践して行ってください。